

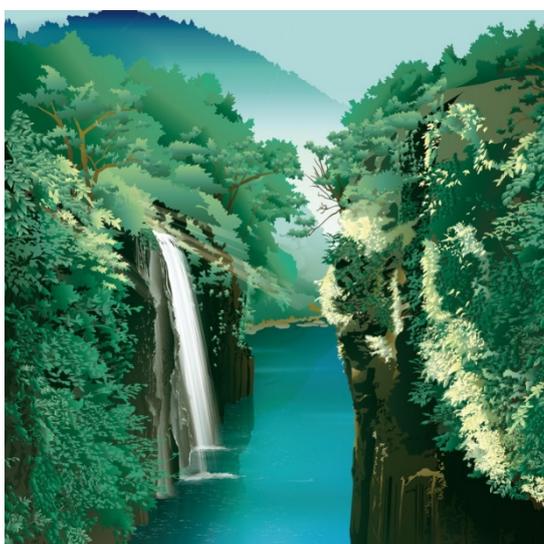
ガバナー 佐藤哲章

News Letter

月曜日

2021年7月26日

第1号



第1回キャビネット会議開かる

7月17日(土)午後2時半からホテル高千穂で第1回キャビネット会議が開催されました。メンバーは、キャビネット構成員ですが、名誉顧問・元ガバナーを始めキャビネット三役、第1、第2副地区ガバナー、GLT 正副コーディネーター、GMT 正副コーディネーター、GST 正副コーディネーター、2リジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソン、各正副委員長、委員など多くの役員に出席していただきました。

あいにくの豪雨で午前中は天気も荒れ模様でしたが、午後からは回復し、先ずはキャビネット新三役の新年度の船出の高波も収まったようです。

- 私の重点目標は、(1)。「人財育成・会員増強キャンペーン」、楽しい研修
(2)。「LCIF キャンペーン 100」、災害復旧にますます LCIF の役割が大きくなっています。
(3)。「地域のパートナー団体との連携」、両県の社会福祉協議会との災害ボランティアセンター支援に関する協定の推進と実働的な支援組織の結成です。どうぞよろしく願いいたします。

人財育成のために

楽しい研修とは、次世代リーダーセミナー、ニューメンバースクール、公認ガイディングライオンセミナー、MyLion 学習センター(オンライン研修)、初級ライオンズ・リーダーシップ研究会(ELLI) などのことです。次世代リーダーセミナーは、2022年2月26日(1リジョン)、3月5日(2リジョン)に予定されております。

早速、新入会員を対象にしたニューメンバースクールが、1リジョンでは10月9日(土)にFWTセミナーと共催予定になりました。

公認ガイディングライオン・オンラインセミナーは、10月16日(土)15時~17時に、全ゾーンチェアパーソン及び64クラブの三役および希望者全員を対象に、オンラインつまりパソコンのZoomを使ってどこからでも参加できる研修です。日本ライオンズ大学副学長の濱野雅司元地区ガバナーが講師として、特別に337-B地区だけのために、実施することになりました。この資格は、国際協会から3年間にわたって公認されるもので、クラブの良いところを見つけ、改善できる部分は改善し、そしてクラブの成長と発展のために、新たなチャンスを発見できるように、皆さんのスキルアップをするセミナーです。

MyLion 学習センター(オンライン研修)は、どなたでもMyLionのIDとパスワードを設定すれば、無料で利用できる学習センターで、クラブ会長、クラブ幹事、クラブ会計コースなど盛りだくさんのコースが用意され、楽しく基礎から学べるようになっており、比較的簡単な内容だと思われそうですが、役に立ちます。ぜひチャレンジしてみてください。IDとパスワードの設定は、IT専門委員がキャビネット事務局へお問い合わせください。今年度は、IT研修会(MyLion、MyLCI等の操作習得)もぜひ開催したいと考えております。わからないことは、IT専門委員へお問い合わせください。

IT 専門委員 ; L 梅木孝一 mail : koichi.umeki@zenfactory.jp

L 坂元はる美 mail: h-sakamoto@btvm.co.jp

初級ライオンズ・リーダーシップ研究会（ELLI）は、クラブ会長を含むクラブリーダーのリーダーシップスキルを養う講座です。将来のリーダーをより多く、より効果的に育成できるよう、ELLIは現在、すべての地区で実施できるようになっています。337-B 地区でも挑戦したいものです。

新しい会員増強キャンペーンパンフレット

会員増強キャンペーン

いよいよ新入会員勧誘キャンペーンが始まります。第 1 回キャビネット会議でも、長期総合計画会議に諮られた議題の焦点は、退会防止、家族会員の理解度、空白地域の調査、クラブ再編についてでした。

ここに注目すべき全クラブの 5 年間の入会者数と退会者表がグラフになって示された資料があります。ご希望のクラブにはメール配信しますが、作成者は、日田すいめいクラブ所属の副 GMT コーディネーターの樺原丸男ライオンです。それによると、2019-2020 年は入会者 161 名、退会者 286 名、2020-2021 年は、入会者 155 名、退会者 183 名となっており、圧倒的に退会者が多いのです。クラブによって、入会何年目の退会者が多いか、その人数もわかるようになっています。

このことからわかるように、会員増強と退会防止は、車の両輪の関係にあることがわかりいただけるでしょう。日本ライオンズの退会率の平均値は 10%だと言われています。30 名のクラブであれば毎年 3 名の退会者があるということです。しかし熱意と創意工夫で、楽しい例会や会員同士のコミュニケーションが図られれば退会率は 5%に抑えられることが分かっています。今年度の会員増強の目標は、純増 50 名ですから、退会率 5%であれば 150 名の新入会員でも目標達成の可能性が出てきますが、退会率が例年通り 10%であれば、250 名以上の会員増強でなければ、純増の 50 名は達成できません。どうか、そのことをご理解いただいて、各クラブの会員増強目標数をお決めください。

毎年、新しい会員が増えることによってクラブは元気になり、IT に詳しいメンバーができれば、さらに新しいチャンスがどんどん広がっていくことでしょう。会員増強の基礎は、楽しいクラブづくりだと言われます。楽しい例会、楽しいアクティビティ、楽しい懇親会、楽しい委員会活動に心がけてください。クラブ三役が中心になって、会員から提供いただいた新会員候補者のリストアップや紹介状を作成しましょう。そしてプロジェクトチームを編成し、新しいパンフレットを活用して積極的に行動しましょう。

会員増強キャンペーンが達成できるキーワードは、「熱意」です。どうか、337-B 地区とそれぞれのクラブが発展することで、地域社会にさらに貢献し、益々ライオンズの奉仕の灯が輝きますように、We Serve !



LCIF キャンペーン 100 にご理解とご協力を

災害復旧にますます LCIF の役割が大きくなっています。

LCIF 2017-2018 交付金内訳		(合計交付金 4,624万\$) (約50億円)	
用途支援 1,214万\$ (約13億円)	26%	人道支援マッチング 1,125万\$ (約12億円)	24%
視力ファースト 1,003万\$ (約10.8億円)	21%	災害関連 926万\$ (約10億円)	20%
ライオンズクエスト 227万\$ (2.4億円)	5%	糖尿病 45万\$ (約4,800万円)	1%
レオ奉仕 21万\$ (約2,200万円)	0.45%	その他 63万\$ (約6,800万円)	1.3%

- 用途支援: ライオンズの申請に拠らない特定事業、はしか、難民支援
- 人道支援マッチング: 地域社会の教育、技術、医療、子供たち

LCIF クラブシェアリング交付金

クラブは、1 会計年度内に LCIF に 5,000 ドル以上を寄付することにより要件を満たします。クラブが受給できる資金は、クラブの寄付の 15%です。交付可能額は 15 年間保持することが可能です。クラブで一人 LCIF100 ドル献金と 1,000 ドル献金をしましょう！1 クラブ 5,000 ドル以上でその 15%が、アクティビティに生かされ、地域社会に貢献ができます。

下記クラブは、2019-2020 年度の寄付金額に基づき、翌年から申請可能なクラブとその金額です。

豊後高田 LC \$ 981 ; 宮崎オーシャン LC \$4,955 ; 日田 LC \$981 ; 日向 LC \$1,631 ; 小林 LC \$2,067

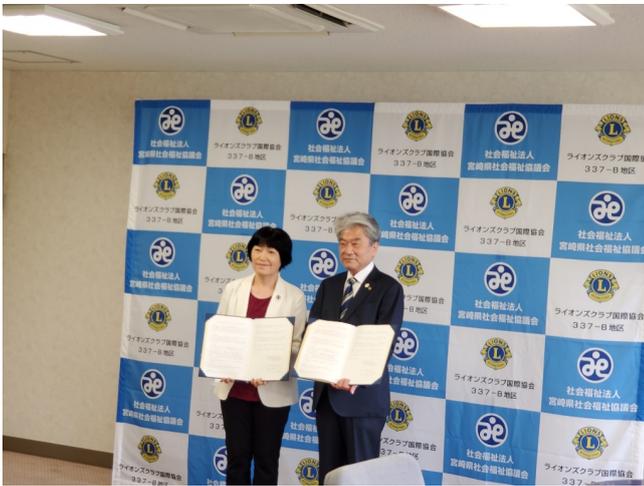
三重 LC \$780 ; 都城中央 LC \$2,782 ; 都城きりしま LC \$1,797 ; 宮崎 LC \$1,293 ; 宮崎ひむか LC \$2,145

宮崎オーシャン LC \$4,955 ; 宮崎橘 LC \$6,910 ; 中津 LC \$5,388 大分梅花 LC \$975 ; 高原 LC \$1,020

337-B 地区 \$33,741

「地域のパートナー団体との連携」

災害ボランティアセンターの支援協定が結ばれました



近年、私たちの身近でも地震、台風または豪雨災害などが発生し甚大な被害もたらされています。このような時には、被災者の支援を目的として災害ボランティアセンターが設置され県内外からの多くのボランティアの方々が集結してきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大を受け、今は県内のボランティアに限定するなど十分な活動ができていません。それは、昨年の人吉をはじめとする九州を襲った豪雨災害でも然りでした。

また、これから起こる可能性のある南海トラフ巨大地震の災害時に被災地外からの支援が困難になることも想定されることより、宮崎県や各市町村の自治体をはじめ各種団体との連携が不可欠になると考えられます。

このようなことを踏まえ、宮崎県社会福祉協議会とライオンズクラブ国際協会 337-B 地区とが、災害ボランティアセンターにおける対する支援を行う協定を

締結しました。

令和 3 年 6 月 21 日（月）16 時より宮崎県福祉総合センターにて実施されましたが、テレビ局、新聞社など多数のメディアも取材に来られ、注目度の高い締結式であることがうかがえました。ライオンズアラート、L 森口孝行委員長、L 富永健司ガバナー、L 佐藤哲章ガバナーエレクト、2 リジョン・チェアパーソン L 下堂 蘭一将が出席される中、協定締結が行われ、富永ガバナーより支援に対する熱い意気込みが語られました。このような協定締結を結ぶのは、ライオンズクラブが初めてということで、宮崎県社会福祉協議会会長、川野美奈子様からは、「今後の災害ボランティアセンターへの支援に対して、心強いばかり」との感謝の言葉をいただいております。

災害ボランティアセンターとは、災害時に設置される被災地でのボランティア活動を円滑に行うための拠点で、その被災した地域の社会福祉協議会が設置します。今回の協定は、ここでの活動に必要な車両および、資器材の提供やボランティアに対する炊き出しや食料の供給を行うなど、私たちライオンズクラブの会員が持て得る様々な専門知識を駆使し支援を行うというものです。被災された方への支援を行うボランティアの方への支援も、大変重要なものであると認識される協定であり、この先このような活動はないに越したことはありませんが、不測されないことが起こった際の迅速で効果的な支援が展開できることを目指しての取り組みと言えるでしょう。

協定書の第 1 条（目的）

対象を宮崎県内の市町村社会福祉協議会が設置・運営する災害ボランティアセンターまで含めた。宮崎県社会福祉協議会が設置・運営する災害ボランティアセンターはもちろん、宮崎県内の市町村社会福祉協議会が設置・運営する災害ボランティアセンターについてもこの協定締結によってカバーできるようにしました。

このことにより、宮崎県内の市町村社会福祉協議会がそれぞれ個別に地域のライオンズクラブと協定の締結を進める事務的負担を軽減するとともに、自然災害が広域的に発生し隣接する複数の市町村で災害ボランティアセンターが設置された場合にも迅速に対応できます。

2022年4月10日第68回地区年次大会のPR隊

第1回キャビネット会議の懇親会の席上に、突然、高千穂の神々ご一行が現れました。高千穂夜神楽で着る「ちはや」に身を包み、高千穂ライオンズクラブ所属の高千穂町長・甲斐宗之ライオン、県議の佐藤雅洋ライオン、大会本部長・熊埜御堂勝彦ライオン、クラブ会長・佐藤雅高ライオンなど10数名が、「観光地高千穂へ来年4月10日の地区年次大会には多くの会員の御来町をお待ちしております。」とあいさつしました。

「会員には高千穂町農業協同組合長の佐藤友則ライオンもおりますので、年次大会懇親会では高千穂牛のステーキも出てくるかもしれませんよ。地元のおいしい焼き鳥、煮めめ、ニジマス、山菜など盛りだくさんな上に、神楽酒造、高千穂酒造、雲海酒造のライオンズ会員がおいしい焼酎を用意して待っています。夜の飲み屋街もたのしいですよ。」

宿泊施設も多く、夜は每晚8時から高千穂神楽が高千穂神社神楽殿で上演される観光地高千穂。高千穂峡のボート、御利益のある神社めぐり、あまてらす鉄道で高千穂鉄橋を渡ることも人気です。ガイド付きの観光は高千穂町観光協会が担当します。そして近隣のゴルフコースも延岡、阿蘇、矢部など1時間圏内に点在しています。ぜひ、観光を兼ねて第68回地区年次大会へ！



長期総合計画委員会で検討した内容

- ① L吉見章一) 前年の実績を見てもわかるとおり退会防止ができていない。これはクラブの弱体化が主因である。会員数が少ないクラブは運営が困難なのが現実であり、空白地域の問題につながっている。この打開策として、リジョン単位で地域を掘り起し、まずはクラブ支部から成長させていくという方法が考えられる。ゾーン単位での横のつながりを意識することも重要ではないか。また、賛助会員としてクラブに残ってもらう等融通をきかせることも検討できるのではないか。そのような活動からはじめてはいいか。L森口孝行) ここ2・3年の活動自粛は仕方ない。ライオンズってなにをやっている団体なのだろうという疑問を持たれる一般の方も少なくない。ゾーン内でまとまったアクティビティを考えるべき。また、ガバナーを輩出した伝統あるクラブの解散(国富LC・大分鶴崎LC)はさびしい。役員としてクラブを支える人材が育たなかったことが主因と考える。L吉見章一) だからこそクラブ再編を考慮することが必要ではないでしょうか。L佐藤哲章) クラブ役員を育てる観点から、ガバナーチーム会議でGATチームに対して、ZCおよびクラブ三役についても10月16日開催の公認ガイディングライオンセミナーを受講していただくよう要請した。L富永健司) 会員減少については危機感を抱いている。佐藤ガバナーには退会防止と会員増強を引き続きお願いしたい。
- ② 2R2Zゾーン・チェアパーソンL岡部伸一から、眼鏡リサイクルについて集約体制の検討に関する提案があった。キャビネットにて対応可能である旨、キャビネット会議で報告した。また、災害支援組織に関する提案があり、リジョン単位での協定締結の段階なので、今後の組織化に考慮していくことを出席者全員が承認した。さらに、LCIFの交付金等の情報開示に関する件は、第二副地区ガバナーL下堂園一将から参考資料として337-Eが作成した熊本震災に関するパンフレットが提示され、当地区においても今後取り組むことが可能である旨意見が出された。また、今後、キャビネット事務局から10年間のLCIFの使われ方の資料が提供される予定が報告された。
- ③ 1R2Zゾーン・チェアパーソンL増田勝也から、コロナ禍における会員の救済措置として国際協会会費、複合地区会費、地区会費等を一定期間免除することができないかとの提案があった。・国際協会会費は半年間の猶予という制度はあるが、複合地区費、地区費の免除は、組織の運営が出来なくなるので難しい。会員のクラブ年会費の軽減については各クラブで対応している。退会防止での会員の救済措置は、各クラブで協議・検討してほしいとの意見が大多数でした。ご理解ください。
- ④ YCE委員L田中修一から社会福祉協議会との災害ボランティア支援協定の具体的な資料提供についてお尋ねがあった。これから実務的な協議が始まるのでその都度情報を提供していく旨、ガバナーL佐藤哲章が回答した。

皆様のご意見、ご提案をお待ちしています。ガバナー佐藤のメールアドレス info@kaminoya.jp クラブ名とお名前お忘れなく！